

ご当地 自慢

岐阜県 関市

38

岐阜森林管理署

岐阜県関市は、平成十七年の合併で、長良川を挟んだ、東側から合流する津保川周辺と、西側から合流する板取川周辺を含む区域となっています。

ここでは、西側の板取川上流西北部、板取地区を紹介します。

◆川浦（かおれ）溪谷

清流板取川は魚釣りでも有名ですが、上流にある川浦（かおれ）溪谷は、高さ三十メートル、全体約七キロに及ぶ溪谷で、断崖を望む壮大な景観は四季折々の彩りを見せてくれます。



近くにはキャンプ場もあり川遊びやキャンプを楽しんだり、板取川温泉では散策等で疲れた体を癒やすこともできます。

また、秋には「せきサイクル・ツーリングin板取川」の開催が予定されており、多くのサイクリング愛好者が板取川沿いを自転車で駆け抜けます。

◆二十一世紀の森（株杉）

少し下流に下ると、四方を山に囲まれた自然あふれる公園「二十一世紀の森」の中に、「株杉の森」があります。



伐採が繰り返り返し行われ、この状態になったもので、百株以上の株杉があり、そのうち株の直径が一メートル以上のものが三十株あります。樹齢は大きなもので四百年から五百年と推定されており、自然の神秘が感じられる森です。

また、この公園とその周辺には十万本のアジサイが植えられており、六月下旬から七月上旬に見頃を迎えます。この時期には「関市板取あじさい村」が開村、月末の土日は「あじさいフェスティバル」が開催され多くの観光客で賑わいます。

◆モノの池

もう少し下流には、最近テレビで紹介され一躍有名になった「モノの池」があります。

印象派を代表するフランスの画家「クロード・モノ」が描いた絵に似ていると評判になっています。週末にもなれば一千人もの来訪者があります。



◆治山工事

この地域の最上流部は、地形が急峻で、伊勢湾台風や平成十四年の台風による記録的な豪雨により、大規模な山腹崩壊が発生・拡大するとともに、土砂流出、濁水が発生し、下流に甚大な被害がありました。

平成十六年からは、県や地元からの要請を受けて、災害に強い森林の再生を目指して、山腹崩壊地の復旧や溪床の土砂を安定させるための民有林直轄治山事業を実施しています。



アクセス方法

東海環状道関広見ICから北へ、R418・R256を経て、関市板取事務所まで、34・3キロ約60分